

浜松市

こどもの権利ワークショップ

令和7年11月30日（日）
13：30～16：00

@可美公園総合センター 2階ホール

第3回

こどもの権利
フォーラムで発表！
意見を伝えよう！

令和7年11月30日（日）に第3回「浜松市こどもの権利ワークショップ」を開催しました。今回のワークショップでは、第1回・第2回で考えたみんなに伝えたい大切な権利を“浜松市こどもの権利フォーラム”で発表しました。その内容についてご報告します。

浜松市こどもの権利フォーラム 2025年11月30日

こどもの権利フォーラム次第

1. 基調講演
2. こどもの権利に関する発表
3. パネルディスカッション

“浜松市こどもの権利フォーラム”では参加者のみなんで、司会や受付なども協力して運営しました。



司会や受付をしたよ



1

基調講演

こどもの心の声を聴く「こどもアドボカシー」
～こどもの「ために」から こどもと「ともに」～

一般社団法人 子どもの声からはじめよう
代表理事 川瀬 信一さん

基調講演では、講師の川瀬さんから「こどもアドボカシー」についてお話ししていただきました。

講演の途中でこどもの「権利カルタ」をしたり、ベルギーで実際に行われている取り組みを教えてもらったりして、こどもの権利が身近に感じられる時間でした。

基調講演の中で
“権利カルタ”をしたよ



こどもの権利に関する発表

各チームで選んだ権利をテーマに、5つのチームが順番に発表をしました。これまで話し合ったことをもとに、大切な権利や、そのために周りの大人や社会に何をしてもらいたいか、自分たちで何ができるかなどについて発表しました。チームごとの個性あふれる素晴らしい発表でした。

発表の自由
チーム名 うまいぼうチーム

理由

- 子どもには色々な考えやアイデアがあるので、その考えを生み出したり、他の人に伝えていく事は、こまがらの社会のためにも大切な事だと思います。
- 人それぞれの表現のしめどがあるから自由でよいと思いたいです。
- 自分の意見を発信 投稿の権利が権利がないと、この意見も、言っても大丈夫なのかと自分の意見表示が難しくなるので、

そのために必要なこと

- インターネットは子どもが知らなくても良い情報があるので、子どもが自由に情報を得られる、子どもせんぶのインターネットアプリを作り子ども達が自分の意見を発信しやすい環境、必要な情報を得られる環境を作る。
- おこるない、友だちの意見をひいてはいない。
- できるだけ 全員の意見を聞く機会をつくる。

チーム名 ▶ うまいぼうチーム
(小学生チーム)

テーマ

表現の自由

チーム名 ▶ しゃべくりまんぱく9
(小学生チーム)

テーマ

さべつされるのを
守るけんり

さべつされるのを守るけんり
チーム名 しゃべくりまんぱく9

理由

- 差別されること自体がめんどくさい
- 差別されると「なしくなり」の気持ちになるから
- 差別されて、しんじうごもめんどくさい
- 差別が成立する上には人間の存在価値が無くなるから

そのために必要なこと

- 差別している子がいたら、ちやうどいする
- 人をびょうどうに見る
- みんなに差別をするといやな気持ちになることを伝える
- 自分の意見もみんなの意見もちゃんと聞く、一人一人の個性を大切に

自分の意見を無理して
言わなくていい権利
チーム名 何でもいい

理由

- 自分の意見をうまく言えない人がいてその人が自分の意見を言て、他の人に否定されないようにするため、自分の意見を言えても言えなくてもその意見を大切にしたいから。
- そのために必要なこと
- 自分の意見を言うのはづかしい人はまわりの人に代わり言ってもらったり、まわりの人がしかりと聞いてあげること。
- 自分の意見をうまく出せない人は、気軽に意見を言える場を設けたり、まわりの人がやさしく見守ってあげること。

チーム名 ▶ 何でもいい
(小学生チーム)

テーマ

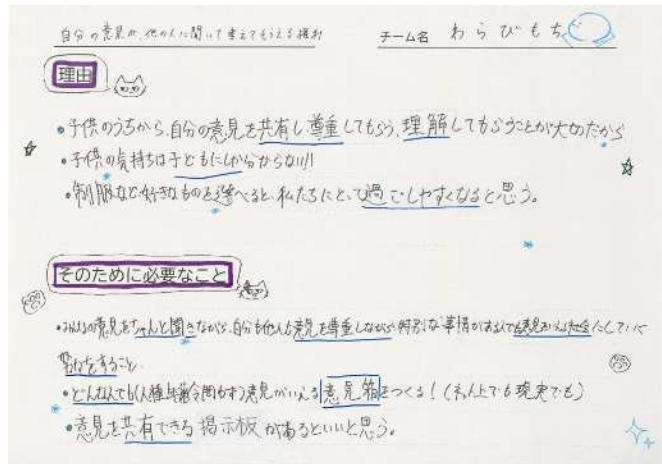
自分の意見を無理して
言わなくていい権利

2

チーム名 **わらびもち**
(中学生チーム)

テーマ

自分の意見が他の人に
聞いて考えてもらえる権利



意見を表す権利

チーム名 **モグモグくらぶ**

理由 「ドラ、ノ校則」 進路選択が親の言いなり
居場所や学ぶ場所は自分で決めたい
学校に行かずに、行かないを自分で決めたい

そのために必要なこと 「やりたい」という実現をおかす大人が一緒に考えたい
・お金やスキルなど現実的な問題について考える機会
・ルールや校則に対し、子ども若者が発言できる場にする(例:子ども・若者委員会)
・子ども若者が大人が尊重し合える関係性を持つために、大人が干渉しない

チーム名 **モグモグくらぶ**
(高校生、大学生、社会人チーム)

テーマ

意見を表す権利

3

パネルディスカッション



パネリストとして、ワークショップ参加者から高校生1名、中学生2名がパネルディスカッションに参加しました。

コーディネーターの進行のもと、「子どもの権利」をテーマに大人の有識者と真剣に話し合いました。

子どもの意見が、たくさんの人にしっかりと届いた、すごく大切な時間になったと思います。



「浜松市子どもの権利フォーラム」のくわしい報告書を
浜松市ホームページで公開しています。



第4回のワークショップは、令和8年2月15日(日)に開催予定です。
これまでのワークショップで聴かせてもらった“みんなの声”を参考に浜松市では、子どもの権利条例の整備に取り組んでいます。
第4回では浜松市の子どもの権利条例について、みんなで話し合います。

作成：浜松市子どもの権利ワークショップ事務局